

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年11月26日（火）

2 確認箇所

6号機原子炉建屋オペレーティングフロア

3 確認項目

新燃料の所外搬出準備作業における燃料棒の変形事象の状況

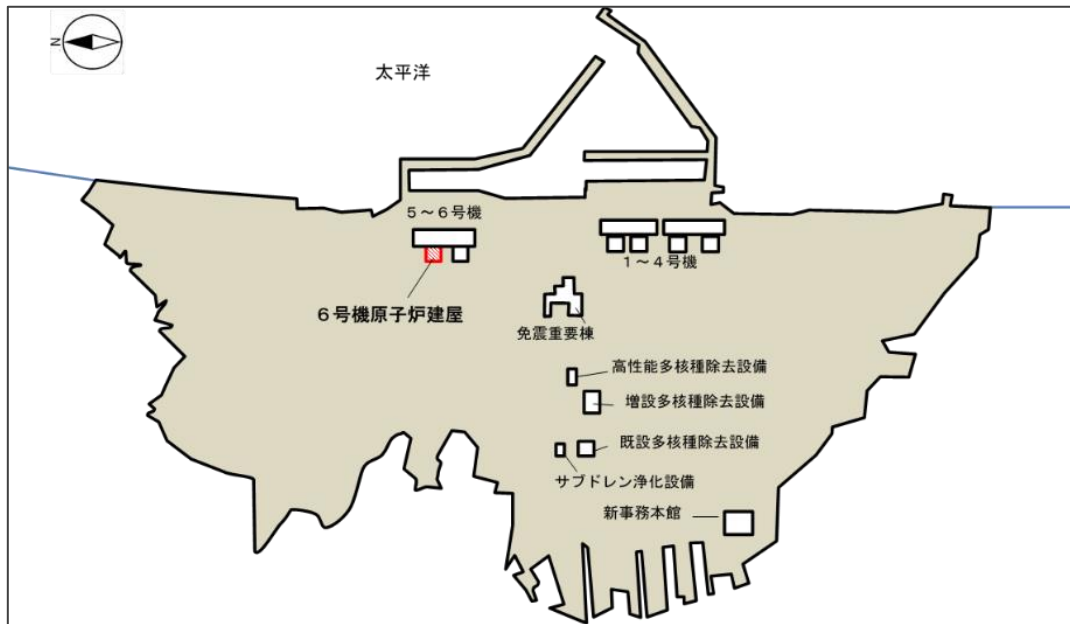
4 確認結果の概要

6号機で保管されている新燃料（未使用燃料）については燃料加工メーカーの工場に搬出する計画^{※1}があり、搬出の準備作業として順次、新燃料の解体・除染作業が6号機原子炉建屋オペレーティングフロア（以下、「オペフロ」という。）で実施されている。

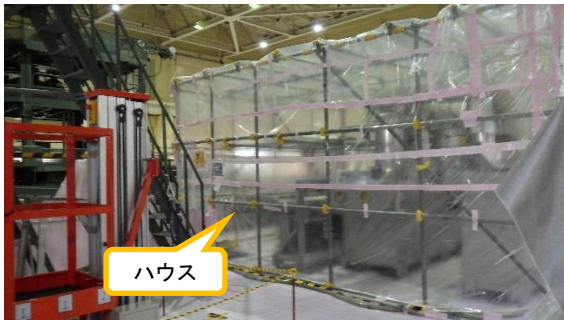
昨日（11月25日）、同作業を実施していたところ、燃料棒を除染装置へ運ぶための機器に燃料棒1本が挟まり、変形する事象が発生したことから、状況を確認した。

- ・現場確認時、作業員2名が新燃料の監視業務を行っていた。（写真1）
- ・燃料棒がW字型に変形していたが、目視の範囲では燃料棒の被覆管に割れ等の破損は確認されなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、事象発生原因は機器操作時に機器の下側に燃料棒が無いことを確認する手順を怠ったことによるヒューマンエラーであるとのことであった。また、変形した燃料棒に破損はなく、オペフロに設置されている放射線モニタや建屋周辺に設置されているダストモニタ等に有意な変動はないことから、外部環境に影響はないとのことであった。

※1 新燃料の搬出までの工程は、概ね、①新燃料貯蔵庫からの新燃料の引き上げ ②新燃料の解体・除染・再組立 ③輸送容器への収納 ④輸送容器の運搬車両への積載、搬出となるが、現段階では搬出時期が未定であるため、準備作業を実施し、搬出までの間はオペフロにある新燃料貯蔵庫で保管することになっている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
作業箇所外観
(ハウス内に除染装置が設置されている。)



(写真2)
変形した燃料棒

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。